

三途の川 (仮称)

会員報の創刊に寄せて

葬儀を考えるNPO東京

代表理事 高橋 進

前略 当NPO法人は平成16年7月22日に認証を得て、丁度この7月で10年目を迎えます。この節目に当たり、今の、その時のNPO東京をお伝えしたく、茲に「葬儀スクール会員報」を創刊いたしました。

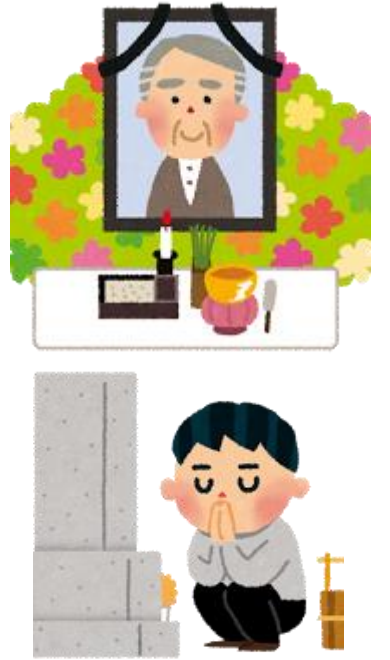
NPO東京が葬儀スクールの門戸を開いてこのかた、異業種で働く多くの方々が「葬儀」と言う共通したテーマをもって当事務所に立ち寄りました。

皆の関心はただ一つ、それは「葬儀の世界」です。ある人は葬儀それ自体を知ることであり、またある人は「起業の不可」を確かめるために訪ねてきました。今でもそれは同じです。そしていつしか葬儀で起業した方、この業界で働いている方、あの時と変わらぬ道を歩んでいる方。NPO東京はこれまでに何らかの形で交わったすべての方に、この会員報を通して私たちの活動をお知らせしたいと思っております。勝手ながらのお便りではございますが今後ともよろしくお願い申し上げます。

草々



最新情報かわら版



葬儀を考えるNPO東京では、出張葬儀セミナーを実施しております。

【現在予定している葬儀セミナー】

● 6月29日(日) 榎原斎場(八王子市)

主催 : 八王子市まちづくり公社

テーマ : 「家族に迷惑をかけないために」
「知って損をしない葬式の話」

● 8月7日(木) 東京都多摩消費者センター (立川市)

主催 : NPO法人多摩FP

テーマ : 「知って損をしない葬儀のあれこれ」
「目からうろこの葬儀話」

● 10月29日(火) 荒川区民会館 (荒川区)

主催 : 荒川区社会福祉協議会 / 成年後見センターあんしんサポートあらかわ

テーマ : 「老いの支度の第一歩」
「今からできることあるの？」

「葬儀で後悔しないために」

現在のスクール生紹介①

現在、葬儀スクールに在籍されている生徒さんを順次ご紹介していきます。皆さんどんな方かな？



● 阿久津 文子さん (北区)

月曜日のクラス

2013年7月から受講しています。間もなく一年。細く長くスクールに通っています。本業はダンスパーティーなどの司会です。司会業の傍ら戸田斎場へ派遣され、只今、案内誘導係として週数日間働いています。もし現場で私を見かけたら声を掛けてくださいね。



● 海老原 聡広さん (世田谷区)

土曜日 午前のクラス

魚屋を営んでいます。商店街の店を使って葬儀を執行することで商店街の活性化ができないかと考え、4月より勉強しています。



葬儀を考えるNPO東京が主催する「葬儀検定」の設問、腕試しに挑戦してはいかが？

設問 1 担当者は打合せの席で、葬儀日程を決めようとしています。葬儀日程を決める際に優先する項目が三つあります。該当する番号を三つ選び、且つ優先する順に番号を並べよ。

番号

- 1 希望する火葬場の空き（お釜）状況を掴み、予約（申込み）を入れる。
- 2 僧侶の都合に合わせて火葬場を押さえない（申し込む）。
- 3 通夜と葬儀の日程及び時間帯を早々に決め周知すること。
- 4 霊柩車を一刻も早く確保したい、そうでないと希望する柩車が取れない。
- 5 式場（会場）を決めることが先決です。
- 6 喪主を決めなくては何事にも進まない。

設問 2 相談者から「葬儀社を見抜くコツ」「信頼できる葬儀社」の見分け方について問われました。貴方はどのようにお応えしますか？ 数行で記述せよ。

設問 3 本誌のタイトルは「三途の川」（仮称）ですが、いわゆる「三途の川」を挟んでこちら側（現世）の岸を何と言いますか？ 正しいと思われるコトバを番号で選びなさい。
1 峰岸 2 向岸 3 彼岸 4 河岸 5 根岸 6 此岸 7 魚河岸

葬儀スクールのテキストより

直近で「直葬」や「家族葬」が本当に多くなっている。こうしたお葬式の在り方に葬儀業界やコンディーターの専門家は危機感をもってこう力説しています。

- 1 父親の時の葬儀は町内会に周知したが、母親の時は知らせず、祭壇も半分にした、それでも父親の時と比べ持ち出しは多かった。
- 2 本来の日本の葬儀は互助扶助で成り立っている。よって訃報を広く周知する弔が日本のお葬式の姿なのだ。
- 3 周知しないと、あとから訃報を知った人が弔問に來たりして、外出もままならない。ずっと家にいなくてはならない。
- 4 家族葬や直葬が増えると、地域の人たちに亡くなったことが伝わらず、近所付き合いが薄らぎ、寂しさを感じる。
- 5 故人の一生は家族や親族だけのものではない、会葬者を限定するのはいかがなものか。終わってから後悔する家族も多いと聞く。